

男子・女子バレーボール部

男女共に2部の洗礼、来シーズンの雪辱を期す

2019年度の秋季リーグ戦(3部)で共に優勝し2020年度から2部に昇格した男子・女子バレーボール部。2020年度の春季リーグ戦はコロナ渦で中止となり迎えた秋季リーグ戦。昨シーズン、3部で女子MVPに輝いた三杉穂乃香選手(看護学科3年)ら主力が実習などで戦列を離れたことも響き、共に2部8位という結果に終わりました。しかし、今季はコロナ渦のため降格がなく、2021年シーズンも男女共に引き続き2部でのプレーとなります。4月には春高バレーに出場した有力選手の入学も決まっており男女共に2部定着が期待されます。



秋季リーグ戦では8位に終わった男子



1勝をあげるも8位の女子

大会結果

- 2020年度関西学生バレーボール秋季リーグ戦(男子2部)
8位 7敗 VS大阪商業大学④ 1-3 ● VS大阪国際大学③ 0-3 ●
VS大阪大谷大学⑥ 1-3 ● VS関西福祉大学⑤ 0-3 ●
VS大阪学院大学① 0-3 ● VS大阪教育大学⑦ 0-3 ●
VSびわこ成蹊スポーツ大学② 0-3 ●
- 2020年度関西学生バレーボール秋季リーグ戦(女子2部)
8位 1勝6敗 VS天理大学① 0-3 ● VS大阪体育大学⑤ 0-3 ●
VS関西学院大学② 0-3 ● VS大阪学院大学③ 0-3 ●
VS大阪大谷大学④ 0-3 ● VS佛教大学⑥ 3-2 ○
VS流通科学大学⑦ 0-3 ● ※○数字は順位



女子剣道部



2020年度唯一の大会となった第59回全日本女子剣道選手権大会予選会で奮闘<出場は1・2年生中心>

全日本女子京都予選に出場

大会結果

- 1/31(日)
第59回全日本女子剣道選手権大会予選会
ベスト8 中村心咲
(柔道整復学科1年)



男子柔道部



コロナ渦、多くの大会が中止となり出場は個人戦の関西学生柔道体重別選手権大会(第39回)のみとなりました

関西学生体重別に出場

大会結果

- 12/5・6(土・日)
関西学生柔道体重別選手権大会(第39回) 出場

男子バスケットボール部



リーグ戦デビューを果たした男子バスケットボール部

関西学生リーグデビュー 初陣は4部15位

大会結果

- 2020年度秋季リーグ戦 男子4部1次リーグ (Aブロック・7チーム)
3勝3敗 総合15位<36チーム中>
VS桃山学院教育大学①..... 38-128 ●
VS桃山学院大学①..... 51-88 ●
VS近畿大学生物理工学部②..... 1-0 ○*
VS兵庫教育大学⑤..... 64-94 ○
VS滋賀県立大学⑦..... 88-67 ○
VS大阪人間科学大学②..... 1-0 ○*
※○数字は順位、*は対戦相手棄権

京都・南丹から、全国、世界へ躍動。

強化指定クラブの選手たちの活躍の軌跡をレポート。



子供から高齢者まで日々の健康管理に最適
～アプリで簡単、体調チェック～

大学オリジナル無料アプリ
MY TRAINER



秋季リーグ戦で過去最高の2位と健闘 2年ぶり3度目の全国インカレで初勝利

2020年春季リーグ戦は中止となりましたが、開催にこぎつけた秋季リーグ戦(1部)で、過去最高の2位と健闘し、2年ぶり3度目の全国インカレ(第29回全日本大学女子サッカー選手権大会)にコマを進めた女子サッカー部。

12月24日(木)に三木総合防災公園陸上競技場(兵庫県)などで行われた1回戦で、九州地区第2代表の佐賀大学と対戦。6-0で勝利し、インカレ3回目の出場で初めて1回戦を突破しました。緊張も解けない試合開始2分に右サイドを突破した山内捺未選手(柔道整復学科4年)からのセンタリングを河村祐実選手(鍼灸学科1年)が確実に合わせ先制。リズムをつかむと前半だけで立て続けに4点を奪いインカレ初勝利に向け試合を有利に進めます。



初めて1回戦を突破し、喜ぶメンバー

後半に入っても常に高い位置でボールをキープ。相手に付け入るスキを与えず、さらに2点を加え6-0で快勝し初戦突破を決めました。

続く2回戦は、12月26日(土)、みきぼうパークひょうご第1球技場でシード校の東洋大学(関東地区第3代表)と対戦。0-4で敗れベスト8進出はなりません。

前半の序盤は高い位置でボールをキープし決定的な場面を演出するなど1回戦大勝の勢いそのまま、強豪相手に押し気味にゲームを進めます。しかし、18分にゴール前の混戦から先制点を許すと流れが相手に。その後も29分に失点し0-2で前半を折り返します。

後半は前半以上に攻め込まれるシーンの連続で我慢の展開に。メンバーを入れ替えるなどして何とかリズムを変えようとしていますが、相手の勢いが勝り、最後まで得点を挙げることができず0-4での敗戦となりました。



大会結果

- 2020年度関西学生女子サッカー秋季リーグ(1部)
 - 2位(4勝1敗1分・勝点13)＝過去最高順位
 - VS姫路獨協大学③……………1-0○
 - VS聖泉大学④……………0-2●
 - VS大阪体育大学⑤……………0-0△
 - VS関西大学⑧……………2-0○
 - VS立命館大学⑦……………4-1○
 - VS追手門学院大学⑥……………3-0○
 - VS武庫川女子大学①……………中止
- 第29回全日本大学女子サッカー選手権大会(インカレ)
 - 12/24(木) 1回戦 VS佐賀大学(九州第2) 6-0○=インカレ初勝利
 - 12/26(土) 2回戦 VS東洋大学(関東第3) 0-4●

○数字は最終順位 上位4チームが全国大会出場

第29回全日本大学女子サッカー選手権大会登録メンバー

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| 1 GK 為保美月(柔道整復学科4年・東海大学付属福岡) | 10 MF 淺井智恵(鍼灸学科4年・神村学園)◎ |
| 12 GK 小原梨夏子(看護学科3年・秀岳館) | 14 MF 豊留萌百香(柔道整復学科4年・鳳凰) |
| 40 GK 村田紀都(救急救命学科2年・開志学園) | 23 MF 坂下深(柔道整復学科3年・東海大学付属福岡) |
| 5 DF 後藤華奈(柔道整復学科4年・聖和学園) | 28 MF 桂田なごみ(鍼灸学科2年・聖和学園) |
| 15 DF 岐部青季(柔道整復学科3年・東海大学付属福岡) | 30 MF 小林千夏(看護学科2年・日本航空) |
| 16 DF 岡本彩花(看護学科3年・大阪学芸) | 32 MF 高梨里美(看護学科2年・日本航空) |
| 19 DF 森一薫(柔道整復学科4年・京都橘) | 33 MF 田中有麻(柔道整復学科2年・磐田東) |
| 25 DF 三好李侑(柔道整復学科4年・大阪学芸) | 36 MF 福留実優(柔道整復学科2年・鳳凰) |
| 34 DF 中西菜葉(看護学科2年・福井工業大学附属福井) | 38 MF 前田尚香(看護学科2年・大阪学芸) |
| 35 DF 中村明日葉(鍼灸学科2年・藤枝順心) | 50 MF 河村祐実(鍼灸学科1年・神戸弘徳学園) |
| 37 DF 藤野くるみ(柔道整復学科2年・大阪信愛学園) | 53 MF 岡百々花(柔道整復学科1年・鳴門渦潮) |
| 41 DF 安河内亜実(鍼灸学科2年・高島) | 61 MF 内田葵(看護学科1年・柳ヶ浦) |
| 62 DF 中島遥南(看護学科1年・柳ヶ浦) | 66 MF 俣野鈴奈(鍼灸学科1年・日本学園) |
| 2 MF 山内捺未(柔道整復学科4年・園部) | 8 FW 川崎まゆ(看護学科4年・鳳凰) |
| 3 MF 宮井瑞奈(鍼灸学科4年・本庄第一) | |
| 6 MF 古賀向日葵(柔道整復学科3年・鳳凰) | |

(背番号・ポジション・氏名・学科学年・出身高校、◎主将)

中村貴史監督

「コロナ渦にもかかわらず大学、関係者のご協力、ご支援のお陰で秋のリーグ戦を含め全力でプレーすることができ本当に感謝しています。インカレでも初めて1回戦を突破でき歴史を刻むことができました。しかし、全国の強豪と戦っていくためには、もうワンランク、レベルアップを図っていく必要があります。今回の経験を活かし、選手と共にさらに上を目指して取り組んでいきたいです」

為保選手がなでしこリーグ入り

正ゴールキーパーとして活躍した為保美月選手(柔道整復学科4年)が、なでしこリーグ2部に所属するパニーズ群馬FCホワイスターへの入団が決まりました。本学から上位リーグへの内定は、9月からスタートする女子サッカーのプロリーグWEリーグ(Women Empowerment)に所属するアルビレックス新潟レディースの浦川璃子選手(2020年柔道整復学科卒業)に続く2人目となります。為保選手は入団に際し「新天地での生活には不安と緊張もありますが、自分らしさを忘れずチームの一員として少しでも早く、勝利に貢献できるよう努力していきたい」と力強く抱負を話しました。引き続き応援よろしくお願いします。



関西学生体重別で 宮城選手が優勝

2019年の全日本学生柔道優勝大会の女子団体戦3人制で初優勝した女子柔道部。連覇を目指した2020年シーズンはコロナ渦、ほとんどの大会が中止となり、その夢は絶たれました。そうしたなか12月に今季最初の大会として行われた関西学生柔道体重別選手権大会(女子第32回)で選手たちが躍動。ルーキーの宮城杏優菜選手(柔道整復学科)が48kg級で関西の個人戦では本学初となるタイトルを奪取したほか計7人がメダルを獲得するなど活躍しました。

続く2021年2月に行われた第36回皇后盃全日本女子柔道選手権大会の予選を兼ねた第34回京都府柔道選手権大会(個人・体重無差別)では、関西学生体重別でも活躍した足達実佳選手(柔道整復学科2年)が準優勝。上位5人が皇后盃出場権を得る近畿大会では、足達選手と共に駒を進めていた三谷頼子選手(柔道整復学科2年)が2回戦を突破。ベスト8を賭けた3回戦に進みましたが、惜しくも敗れ皇后盃出場はなりません。



関西学生体重別48kg級で優勝した宮城選手



63kg級で2位の足達選手

78kg超級で2位の三谷選手

大会結果

- 12/5・6(土・日) 関西学生柔道体重別選手権大会(女子32回)
 - ◎48kg級 優勝 宮城杏優菜(柔道整復学科1年) 3位 高森来春(柔道整復学科2年)
 - ◎57kg級 3位 丸山佳代(柔道整復学科3年)
 - ◎63kg級 2位 足達実佳(柔道整復学科2年) 3位 三谷頼子(柔道整復学科2年)
 - ◎78kg超級 2位 上田莉佳(鍼灸学科2年) 3位 山本菜月(看護学科1年)
- 2/14(日) 京都府柔道選手権大会
 - ◎無差別級 2位 足達実佳(柔道整復学科2年)
- 2/28(日) 近畿柔道選手権大会
 - ◎無差別級 ベスト16 三谷頼子(柔道整復学科2年)

田村選手が日本選手権、 日本ICに出場 関西ICで3選手が優勝

コロナ渦、前期の大会は中止となりましたが夏以降再開。2020年9月に行われた日本インカレ(デンカビッグスワンスタジアム・新潟)には男子ハンマー投に田村啓斗選手(鍼灸学科4年)、女子砲丸投に山本伶奈選手(柔道整復学科3年)が出場。惜しくも入賞は逃しましたが田村選手は2年連続で日本選手権(デンカビッグスワンスタジアム・新潟)にも駒を進めるなど気を吐きました。

また、5月から10月に延期となっていた関西インカレ(ヤンマーフィールド長居・大阪)では、男子2部ハンマー投、やり投、棒高跳で田村選手、金川陽亮選手(救急救命学科4年)、藤川昂琉選手(鍼灸学科4年)の4年生3人が優勝。総合でも5位、フィールドの部で1位と健闘しました。



2年連続で日本選手権に出場した田村選手



日本インカレに出場した山本選手

関西インカレ男子2部やり投で連覇した金川選手

大会結果

- 9/11~13(金~日) 天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)
 - 男子ハンマー投 10位 58m61 田村啓斗(鍼灸学科4年)
 - 女子砲丸投 14位 12m76 山本伶奈(柔道整復学科3年)
- 9/26(土) 第30回関西学生対校女子駅伝競走大会
 - 総合13位 1時間54分44秒(6区間・30.0km)
- 10/1~3(木~土) 第104回日本陸上競技選手権大会
 - 男子ハンマー投 16位 58m42 田村啓斗(鍼灸学科4年)
- 10/20~22(火~金) 第97回関西学生陸上競技対校選手権大会(関西インカレ)
 - 男子2部棒高跳 優勝 4m80 藤川昂琉(鍼灸学科4年)
 - 男子2部ハンマー投 優勝 59m39 田村啓斗(鍼灸学科4年)
 - 男子2部やり投 優勝 65m18 金川陽亮(救急救命学科4年)
 - 2部男子総合5位 同フィールドの部1位